

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	老年看護実践論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	後期	教室名	新館2・3階
担 当 教 員	柏原 弘子	実務経験と その関連資格	看護師として病院、施設で19年勤務 教育機関で10年以上勤務			
《科目目標》						
事例を通じて老年期にある健康障害を持った対象の健康上の問題を抽出し、問題解決に向けた看護が実践できるための看護計画を立案し実践することが出来る。						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】課題(25%)と授業態度(5%)、理解度テスト(10%)を含め合計40点満点で評価する。 溝邊先生の評価と合わせて総合評価100点となる。						
【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシング・グラフィカ 24巻 高齢者の健康と障害 MCメディカ出版 (デジタル版)						
ナーシング・グラフィカ 25巻 高齢者看護の実践 MCメディカ出版 (デジタル版)						
ナーシング・グラフィカ EX5巻 脳・神経 MCメディカ出版 (デジタル版)						
ナーシング・グラフィカ 4巻 臨床薬理学 MCメディカ出版 (デジタル版)						
《授業外における学習方法》						
①事前・事後学習を行い授業に出席する。課題提出は必須。						
②Teamsに送られる、資料、伝達は各自で必ず確認する。						
③提出物は、クラス単位で回収し指定した時間を守り提出する。						
④学習方法習得に向けて自己研鑽で取り組む。						
《履修に当たっての留意点》						
①既習学習(老年看護学概論、高齢者の健康を支える看護、高齢者の健康障害と看護)を活用する。						
②成人老年看護学実習にむけて、高齢者の特徴と予備力の査定から看護上の問題を考える。						
③②を踏まえ看護過程の展開を通して、必要な看護が実践できるように主体的に学習に取り組む。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	第1回～第9回は溝邊先生のシラバス参照				
	各コマにおける授業予定					
第2回	授業を通じての到達目標	第1回～第9回は溝邊先生のシラバス参照				
	各コマにおける授業予定					
第3回	授業を通じての到達目標	第1回～第9回は溝邊先生のシラバス参照				
	各コマにおける授業予定					
第4回	授業を通じての到達目標	第1回～第9回は溝邊先生のシラバス参照				
	各コマにおける授業予定					
第5回	授業を通じての到達目標	第1回～第9回は溝邊先生のシラバス参照				
	各コマにおける授業予定					

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	第1回～第9回は溝邊先生のシラバス参照			
	各コマにおける授業予定				
第7回	授業を通じての到達目標	第1回～第9回は溝邊先生のシラバス参照			
	各コマにおける授業予定				
第8回	授業を通じての到達目標	第1回～第9回は溝邊先生のシラバス参照			
	各コマにおける授業予定				
第9回	授業を通じての到達目標	第1回～第9回は溝邊先生のシラバス参照			
	各コマにおける授業予定				
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン病患者の看護問題が分かる	教科書 iPad 配付資料 記録用紙一式	パーキンソン病について疾患、治療、看護の学習を事前に実施する 情報の分類とアセスメントを考える。(呼吸・食事・排泄・活動・清潔・コミュニケーション・仕事・学習)
	各コマにおける授業予定	①転倒転落アセスメントシート②ブレデンスケール③主観的包括栄養評価(SGA)④認知機能評価(MMSE、HDS-R)から予備力を査定できる。 14項目に情報の分類と8項目のアセスメント事例患者の全体像を把握する。(アセスメントシート)			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン病患者の看護問題が分かる	教科書 iPad ワークシート課題	ワークシートは授業終了後提出 アセスメントシートを完成し次回提出
	各コマにおける授業予定	事例患者の全体像を把握する。(アセスメントシート) 健康障害から潜在問題、顕在問題を考える。			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	関連図を完成し、看護上の問題が抽出でき、優先度を考える	教科書 iPad	関連図を完成し次回提出
	各コマにおける授業予定	関連図を作成し、看護問題を抽出できる			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護上の問題に対し看護計画を考えることができる	教科書 iPad	①②の視点で看護計画を立案する
	各コマにおける授業予定	看護問題から個別性のある看護計画を立案する。 ①リスク回避 ②健康管理			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護上の問題に対し看護計画を考えることができる	教科書 iPad	①②の視点で看護計画を立案する 必ず指導教材を作成する
	各コマにおける授業予定	まとめ小テスト 看護問題から個別性のある看護計画を立案する。 ①リスク回避 ②健康管理			
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	〈演習(実習室)〉 看護計画に基づき、必要な援助を実施し、評価できる	教科書 iPad	看護計画を立案し演習に参加
	各コマにおける授業予定	看護計画の目標、看護計画と実践の繋がりが理解ができる。計画の評価から看護計画を見直し修正できる。			